

「人材(職員)の育成」

平成21年度は、町政の基本となる「第5次振興計画」の4年目となります。みんなで創るやすらぎと豊かさに満ちたまち「芳賀」の実現をめざし、今年度は「学校教育の充実」「健康づくりの推進」「計画的なまちづくりの推進」「人材の育成」の4つを重点施策として、積極的に事業を実施しています。

今月は「人材の育成」の取組状況を紹介いたします。



皆さんに望まれるサービスを目指して ～未来に向けて今何が必要か～

総務課人材育成係 【☎028 (677) 1111】

《主な事務事業》

- 職員研修事業
- 人事評価事業
- 行政評価推進事業
- 行財政改革
- 環境保全率先実行业（6S推進事業）



なぜ今、人材の育成が必要か

芳賀町役場職員は、「役場は町民の皆さんに適切なサービス、本当に望まれるサービスを提供するための組織である」と認識しています。

そのためには、社会変化に柔軟に対応でき、専門的知識・技術を確実に継承できる人材や組織づくりが必要です。

職員一人一人が、働く喜びを実感し、持てる能力を十分に発揮できる環境を整え、町民本位の視点でサービスが提

供されれば、安全で安心なまちづくりを実現することにつながります。
団塊の世代の退職により失われつつある知識・技術や地域とのコミュニケーションを維持・向上するため、「人材(職員)の育成」を本年度の重点施策の一つとしています。

職員研修事業

公務員としての基本的知識・技術を習得する研修のほか、コーチング研修、メンタルヘルス研修、マナー研修、パソコン研修など芳賀町独自の研修を行っています。

税務や都市計画など専門知識が必要な部署では、知識・技術の習得のため、約10日間の集中研修に職員を派遣します。

また、職員が講師となって文書作成や法制執務、財務会計に関する研修も行っていきます。



人事評価事業

職員のやる気を引き出し、やりがいのある職場にするため、職員の持っている能力と担当している事務事業の実績を評価する人事評価を行っています。

今年度は、これらの評価をもとに勤勉手当(ボーナス)に反映できるよう、評価方法などの改善を行います。

経済状況が不安定な時代になり「仕事は増えるが、人は増えない」という厳しい環境で、行政サービスの質の向上、効率とスピードが求められています。これらの使命を達成するために、人事評価に積極的に取り組んでいきます。

行政評価推進事業

行政評価を取り入れる目的は、事業自体や事業費を削減することではなく、現在行っている仕事をより良くするための道具として活用することです。

行政需要が増えていく中で、限られた財源で何をやっていくのかという視点から行政サービスを見直し、効果的・効率的な行政運営を行うこと

が必要です。また「成果重視の行政経営」「職員の意識改革」そして「行政評価内容」を公表することで「町民の皆さんへの説明責任(アカウンタビリティ)」を果たします。

行財政改革の効果

人材の育成に重点を置いてサービスの質の向上を図っていますが、昨今の社会情勢の変化に合わせて職員などの人件費や委託契約の見直し(削減)を行っています。

平成21年度の予算編成では次のような改革を行いました。
《人件費削減》
△32、757千円

副町長・教育長の報酬を5%削減、管理職手当2%削減、時間外手当2%削減など
《委託契約の見直し》
△15、662千円

町有施設清掃管理業務の縮小、総合情報館運営委託業務の縮小
《削減総額》
△48、419千円

環境保全率先実行业（6S推進事業）

「芳賀町役場は、地域社会の一員」と位置付け、環境保全のため、ごみの分別、節電、節水などさまざまな活動を率先して行っています。

また、CO2排出削減のために、エコカーの導入や資源のリサイクル活動、6S(整理・整頓・清掃・清潔・作法・躰)活動を取り入れ、庁舎内外の清掃活動を積極的に実施しています。



町政への満足度調査実施中

第5次芳賀町振興計画の着実な推進と、町民の皆さんの声を施策に反映していくことを目的に「町政への満足度調査」を実施しています。

この調査は平成13年度から実施しており、今回で9回目となります。今回の調査対象者707人にはすでに調査表を送付して、回答も寄せられてきています。回答が済んでいない人は、8月18日(火)までに専用の封筒を使用し回答してください。